PRESS RELEASE

幸せは JIBAN の上に築かれる。
地盤ネットホールディングス

報道関係者各位

平成 26 年 12 月 29 日
地盤ネットホールディングス株式会社

「地盤安心住宅 PLUS」サービス提供開始のお知らせ

地盤調査データの解析サービスを提供する当社子会社の地盤ネット株式会社（本社所在地：東京都中央区、代表：山本 強）は、平成 27 年 1 月より工務店・住宅会社向け新サービス「地盤安心住宅 PLUS」を販売開始することと致しましたので下記の通りお知らせします。

■「地盤安心住宅 PLUS」のポイント

これまでの建築・不動産業界においては、土地を購入する前に、消費者が地盤リスク情報に確認する習慣がありませんでした。事前に地盤情報を得ることができないまま土地を購入したことで、土砂災害や液状化被害などの災害リスクを事後で知るケースや、当初は想定していなかった工事費用を、土地購入後に追加で負担せざる得ないケースなど、思わぬリスクが発生することがあります。

「地盤安心住宅 PLUS」では、地盤安心マップの有料版「地盤安心マップ PRO」を利用することで、工務店・住宅会社様が、物件を探している消費者へ向けて、建築請負契約前もしくは売買契約前に地盤リスク情報を開示することができます。これにより、災害リスクや軟弱地盤対策について仮説を立てたうえで土地購入の検討や、建築プランを立てることが可能です。

また、「地盤安心住 PLUS」利用者には、グラウンド・プロⅡによる業界初「全棟土質サンプリングサービス」が標準提供されます。土質の確認をすることで、液状化リスクの判定、液状化対策工法の提案まで、住宅を販売するために必要な地盤サービスの提供を一貫して享受することができます。

■「地盤安心住宅 PLUS」のサービス内容（抜粋）

【地盤安心マップ PRO】

地盤安心マップの有料版「地盤安心マップ PRO」を利用可能。対象物件の住所を入力することで、近隣での地盤改良工事率、浸水リスク、地震による揺れやすさ、土砂災害危険箇所の確認、液状化リスクの５項目が、「地盤カルテ」としてレポート化。E メールで判定結果が自動返信されます。

【全棟土質サンプリングサービス】

グラウンド・プロⅡによる地盤調査が提供されます。対象物件全棟に対して、土質サンプリングサービスが標準提供される業界初のサービスです。

【液状化対策工法判定サービス】

液状化リスクの判定と共に、対策工法の提案を受けることができます。

■「地盤安心住宅 PLUS」告知 CM 制作のお知らせ

当商品の発売開始にあたり、告知 CM を制作致します。新 CM では、第一弾の CM に引き続き神保悟志氏、また若手注目女優の葵わかなさんを起用致しました。尚、CM 発表は平成 27 年 2 月上旬を予定しており、新商品「地盤安心住宅 PLUS」のブランドイメージ定着に貢献して頂けるものと期待しております。

【タレントプロフィール】



神保　悟志（じんぼ　さとし）

・生年月日：1962年12月3日
・出身地：静岡県
・特技：総合武術・馬術・英語・野球・ゴルフ

・主な出演情報
テレビドラマ
◆相棒シリーズ　大河内春樹 役
◆温泉へ行こうシリーズ　海堂慎也 役
◆平成仮面ライダー　シリーズ

映画
◆相棒-劇場版-　シリーズ
◆海猿4　BRAVE HEART
◆ごくせん THE MOVIE



葵　わかな（あおい　わかな）

・生年月日：1998年6月30日
・出身地：神奈川県
・特技：絵を描くこと

・2015年映画出演予定情報
◆「暗殺教室」監督：羽住栄一郎　齊藤綾香役
◆「くちびるに歌を」監督：三木孝浩　関谷千夏役
◆「罪の余白」監督：大塚祐吉　笹川七尾役

・CM出演情報
◆東京海上日動火災保険株式会社（2013年1月～）
◆ヤマザキナビスコ株式会社（2013年9月～）
◆西日本旅客鉄道株式会社（2014年4月～）
◆フェリシモ・スキヤキ（2014年8月～）

【地盤安心住宅 PLUS カタログサンプル】





利用無料 ▶ 地盤安心マップ®をさらに活用しよう

STEP 01 地盤情報の見える化

JIBAN+ 地盤安心マップ®の活用 土砂災害危険箇所マップ

広島市安佐南区近辺



土木学会中国支部・広島豪雨災害調査報告 2014年8月31日より転載

2014年8月20日
広島市における土石流災害の事例

裏手の山が土石流危険渓流、特に被害が甚大だったエリア（安佐南区八木3丁目・県営緑丘住宅付近）は**土石流危険区域**、山と被害エリアの境界線が**急傾斜地崩壊危険箇所**に指定。



地盤安心マップ上でも土砂災害危険箇所として情報化・閲覧可能です。

JIBAN+ 地盤安心マップ®の活用 2014年11月22日 長野県神城断層地震の事例

長野県北安曇郡白馬村近辺

長野県を南北に走る神城断層の活動により、活断層が地表に現れる「地表断層」で国道406号線にズレが生じるなどの被害が発生。



WEBより転載



神城断層・田名を東西に二分する大断層、「糸魚川・静岡構造線断層帯（フォッサマグナ）」の北端に位置する活断層

利用無料 ▶ 地盤安心マップ®をさらに活用しよう

STEP 01 地盤情報の見える化

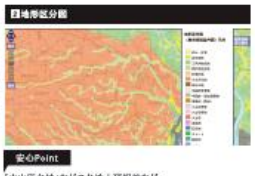
JIBAN+ 地盤安心マップ®の活用 安心な宅地選びのポイント

1 旧版地形図



安心Point
地歴を確認。昔から宅地として利用されている旧市街地エリア

2 地形区分図



安心Point
「火山灰台地」などの台地上平坦地など

3 判定マップ



安心Point
近隣の改良工事状況を確認

4 土砂災害危険箇所マップ



安心Point
周囲に土砂災害危険箇所がないことを確認

JIBAN+ 地盤安心マップ®の活用 他にも様々な情報がまとめて確認できます



自治体液状化ハザードマップ



災害履歴図



避難所マップ

地盤に関する様々な情報をまとめて確認し、同時に重ね合わせることで複合的な情報が入手できます。

地盤安心住宅®+PLUS

改良工事を受注しない地盤ネットが、一貫して運営管理する安心システム。
全国で利用が広がっています。

地盤調査から解析・対策・補償までの一貫サービスを提供

「地盤安心住宅®+」は、信頼性の高い地盤調査からはじまり、関係法令、各指針や基準に基づいた高度地盤解析、地盤インスペクター®による改良工事現場検査、そして安心の定期点検・補償を長期にわたり提供できる「地盤ロングライフ補償™制度」に至るまで、一貫した運営管理を提供。過剰な改良工事を未然に防ぐとともに、検査・アフター・補償までの安心を実現します。

NEW STEP 01 地盤情報の見える化 （1P～4P参照）



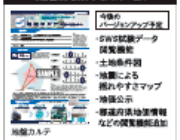
? あなたはその土地がどういう地盤か知っていますか?

地盤安心住宅®を建てるためには
まず、地盤の安全性について
仮説を立ててみることが大切です。

土地を買った後に思わぬリスクが発生することがあります。

- 土地購入後にはじめて地盤が悪いことを知った
- 当初想定していない地盤改良工事が必要になった
- 災害リスクがあることを知らなかった

地盤安心マップ®PRO
事業社向け有料プレミアムサービス



今後のバージョンアップ予定
- SWS試験データ閲覧機能
- 土地条件図
- 地震による揺れやすさマップ
- 地図公示
- 都道府県地盤情報などの閲覧機能追加

地盤カルテ
全国各地の地盤のリスク情報がピンポイントでわかります。

STEP 02 調査結果の見える化

手動式と同じ原理である半自動式の試験機

POINT 1-A JIS規格準拠の半自動スウェーデン式サウンディング試験機
グラウンド・プロは人間の動作に近く、自然荷重の状態を再現することで、手動式と同等の高精度な調査が可能で、敷荷地盤に対して適切な評価ができます。
<国際敷荷貫入試験（自沈重の計測）>

POINT 1-B ロッド貫入の鉛直性を確保、回転の自動化により調査結果の均質性が向上
自然荷重の状態を再現した、おもりの自重を加えた回転方式であり、労力の大きなロッドの回転作業のみ自動式としています。また、手動式では難しい鉛直性を確保し、調査結果の必要が迅速され信頼性の高い試験機となっています。
<一定荷重回転貫入試験（自沈重の計測）>

POINT 2 地盤に精通した人材（地盤インスペクター®、グラウンド・プロマスター）
グラウンド・プロによる地盤調査は、地盤に精通した人材（地盤インスペクター®、グラウンド・プロマスター）が調査を行う相乗効果で、数が国最高水準の地盤調査を提供し、安全安心の住宅サポートを提供します。

NEW グラウンド・プロに土質サンプラーを装着し、実際の土質採取と判定が可能

グラウンド・プロ II では、実際の土質を採取（サンプリング）して判定することができ、「小規模建築物基礎設計指針」等の液状化簡易判定法にも用いることができます。

1：分割型ビルド構造で様々な現場状況に対応
2：おもり荷重と油圧制御荷重両方の段階載荷試験が可能
3：打撃貫入と回転貫入試験を自動化し、安全性と電力性を向上
4：引き抜き力を400kgにアップ
5：ハイブリッド式で経常を大幅に軽減



土質サンプリング用

STEP 03 解析基準の見える化

高度解析
国土交通省告示をはじめとする関係法令を遵守した解析プロセス。日本建築学会が示す指針や販売担保保険設計施工基準にも基づいた高度解析によって、過剰な地盤改良工事を削減します。

対策提案
調査・解析結果に基づいて最適な基礎仕様・敷荷地盤対策を提案します。



解析により改良工事が「不要」と判定された比率
2014年9月20日 日本建築学会「地盤安心住宅®+」プラウンド・プロ活用時

STEP 04 改良工事現場の見える化

NEW 液状化対策提案
「グラウンド・プロ2」による土質サンプリングが実施された物件には、液状化リスクの判定サービス（判定項目は「宅地の液状化被害可能性判定に係る技術指針（国交省）」における一次判定の仕様を満たしています。）が実施されます。またリスクが高いと判定された物件については、液状化対策工事の提案を致します。

01 グラウンド・プロ2によるサンプリング試験
↓
02 スクリーニング及び試料確認による対策判定
↓
03 液状化対策工事の提案

改良工事検査
希望により、「地盤インスペクター®」が改良工事現場を検査。適切な改良工事が行われているかを検査します。



地盤改良工事検査済証
地盤ネットでは地盤改良工事のご依頼は頭けておりません。地盤解析により「改良工事が必要」と判定された場合には、工務店様と地盤改良工事会社様にて別途、工事請負契約を締結いただくことになります。

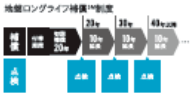


地盤改良工事検査済証サンプル

STEP 05 補償内容の見える化

地盤ロングライフ補償™制度
初期補償として10年間・最高5,000万円まで対応。定期点検を受けることで、10年毎の補償更新が可能です。

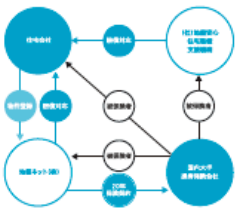
地盤ロングライフ補償™制度





地盤品質証明書

リスクマネジメント体制



【地盤ネットホールディングス 株式会社 概要】

(1)商号　　：地盤ネットホールディングス 株式会社
(2)代表者　　：代表取締役 山本 強
(3)本店所在地　：東京都中央区日本橋一丁目 7-9 ダヴィンチ日本橋 179 ビル 6 階
(4)監査法人　　：有限責任監査法人トーマツ（Deloitte Touche Tohmatsu LLC）
(5)資本金　　：4 億 9,040 万円（平成 26 年 9 月 30 日現在）
(6)取引銀行　　：三菱東京 UFJ 銀行、三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行
(7)主要取引先　：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、三菱 UFJ 信託銀行株式会社
(8)グループ会社：地盤ネット株式会社/JIBANNET ASIA CO.,LTD.

【本リリースに関するお問い合わせ】
〒 103-0027 東京都中央区日本橋一丁目 7-9
ダヴィンチ日本橋 179 ビル 6 階
地盤ネットホールディングス 株式会社
Tel. 03-6265-1834／Fax. 03-6265-1804
E-mail. jibanir@jibannet.co.jp